



一、昭和四十八年度全国公共図書館協議会定期総会次第

一、日 時 昭和四十八年六月十七日 午前十一時～十二時
 二、場 所 東京都立中央図書館講堂
 三、開 会
 一、来賓祝辞
 二、議長選出
 三、議 題
 昭和四十七年度事業報告および決算報告について
 昭和四十八年度事業計画および予算について
 規約改正について
 その他
 四、表 彰
 感謝状の贈呈
 表彰状の贈呈
 会友挨拶
 受賞者挨拶

二、昭和四十八年度全国公共図書館協議会研究集会次第

日 時 昭和四十八年六月十七日 午後二時～四時十五分
 場 所 東京都立中央図書館講堂
 主 旨 この研究集会は、全国の公共図書館相互の親善を促し、図書館の管理運営に関する研究を行なひ、図書館活動の推進をはかることを目的とする。
 主 催 全国公共図書館協議会
 参 加 者 各 会 員
 研 究 内 容 (一) 研究発表
 (二) 研究発表地区ごとに設置された委員会、公立図書館運営に
 関し、行政は財政的分野から当面緊急課題をとり
 上げて調査研究の結果

○ 公共図書館における内部業務の分析と比較検討について…
 ；近畿地区小委員会
 ○ 図書館振興策について…東
 北地区小委員会
 (一) 財政問題について(財政委員会担
 当)
 ○ 国庫補助金について
 ○ 地方交付税における図書館費に
 ついて
 ○ 公立図書館設置および建物の
 基準について…西日本地区小
 委員会
 (一) 職員問題について(職員委員会担
 当)
 ○ 司書職身立について…北
 日本地区小委員会
 ○ 司書職業資格について…四
 重地区小委員会
 三、理 事 会
 第 四 回
 日 時 昭和四十七年五月二十五日
 場 所 都立日比谷図書館講堂
 議 事 項
 (一) 全国公共図書館員の異動について
 (一) 国庫補助金について
 (一) 流通協賛会について
 (一) 研究調査報告書、読書普及活
 動研究集会報告書の発行について
 (一) 議 事 項
 (一) 昭和四十六年度事業報告、決算報
 告について
 (一) 監 査 報 告
 (一) 昭和四十七年度事業計画、予算に

二、昭 和 四 十 七 年 度 事 業 報 告
 (一) 国庫補助金について
 (一) 役員異動について
 第二回
 日 時 昭和四十七年八月八日
 場 所 都立日比谷図書館講堂
 報 告 事 項
 (一) 昭和四十七、四十八年度役員名簿
 の呈出について
 (一) 全国図書局長の移動
 津浦立図書館の協賛への加入
 について
 (一) 昭和四十七年度読書普及活動研究
 集会について
 協 議 事 項
 (一) 昭和四十八年度図書館関係季
 刊について
 (一) 昭和四十八年度分派金の値上げに
 ついて
 (一) 規約改正について
 (一) 会 行 について
 第三回
 日 時 昭和四十七年十月三日
 場 所 榊木立図書館本ホール
 報 告 事 項
 (一) 昭和四十八年度図書館関係季
 刊について
 協 議 事 項
 (一) 昭和四十八年度図書館関係季
 刊について
 (一) 昭和四十七年度委員会報告につ
 いて
 第四回
 日 時 昭和四十八年三月十五日
 場 所 都立中央図書館第三講堂

を発表する。

時 間	内 容	答 答
11:15-12:00	開会式 東京地区委員会 東北地区委員会 北日本地区委員会 西日本地区委員会 近畿地区委員会 中国地区委員会 四国地区委員会 九州地区委員会	
12:00-12:45	全 会 議 決 閉 会	

三、昭和四十八年度事業計画
 一、総会および理事会
 (一) 総会 六月 東京
 (一) 理事会 五月 東京
 十月 大阪
 三月 東京
 二、調査研究活動
 (一) 研究集会
 ア、研究集会 六月 東京
 イ、読書普及活動研究集会
 (一) 調査研究活動
 (一) 調査研究活動
 次の地区ごとに委員会を設置し、
 「公立図書館の運営に関する研究」
 を行政・財政・購買の分野から当
 面緊急課題をとりあげ、調査研
 究を行なう。
 東日本地区(北日本関東)
 中日本地区(東海北陸近畿)

三、情報活動
 (一) 会報発行 二回
 (一) 研究調査報告書の刊行
 (一) 読書普及活動研究集会報告書の刊
 行
 四、表 彰
 五、部会活動
 (一) 公共図書館関係国家賞の増額運
 動
 (一) 地方公共団体における図書館関係
 予算の増額運動

四、昭和四十七年度事業報告
 一、総 会
 日 時 昭和四十七年六月二十二日
 午前十時三十分～十二時
 場 所 都立日比谷図書館講堂
 議 題 河村氏(佐賀県)を議長と
 して
 議 事
 (一) 昭和四十六年度事業報告および決
 算報告について
 (一) 会計監査報告について
 (一) 昭和四十七年度事業計画および予
 算について
 (一) 役員異動について
 (一) 分派金値上げについて
 二、研究集会
 日 時 昭和四十七年六月二十二日
 午後二時～四時
 場 所 都立日比谷図書館講堂
 (一) 行政問題について(政委員会担当)

○ 公共図書館における内部業務
 の分析と比較検討について…
 ；近畿地区小委員会
 ○ 図書館振興策について…東
 北地区小委員会
 (一) 財政問題について(財政委員会担
 当)
 ○ 国庫補助金について
 ○ 地方交付税における図書館費に
 ついて
 ○ 公立図書館設置および建物の
 基準について…西日本地区小
 委員会
 (一) 職員問題について(職員委員会担
 当)
 ○ 司書職身立について…北
 日本地区小委員会
 ○ 司書職業資格について…四
 重地区小委員会
 三、理 事 会
 第 四 回
 日 時 昭和四十七年五月二十五日
 場 所 都立日比谷図書館講堂
 議 事 項
 (一) 全国公共図書館員の異動について
 (一) 国庫補助金について
 (一) 流通協賛会について
 (一) 研究調査報告書、読書普及活
 動研究集会報告書の発行について
 (一) 議 事 項
 (一) 昭和四十六年度事業報告、決算報
 告について
 (一) 監 査 報 告
 (一) 昭和四十七年度事業計画、予算に

二、昭 和 四 十 七 年 度 事 業 報 告
 (一) 国庫補助金について
 (一) 役員異動について
 第二回
 日 時 昭和四十七年八月八日
 場 所 都立日比谷図書館講堂
 報 告 事 項
 (一) 昭和四十七、四十八年度役員名簿
 の呈出について
 (一) 全国図書局長の移動
 津浦立図書館の協賛への加入
 について
 (一) 昭和四十七年度読書普及活動研究
 集会について
 協 議 事 項
 (一) 昭和四十八年度図書館関係季
 刊について
 (一) 昭和四十八年度分派金の値上げに
 ついて
 (一) 規約改正について
 (一) 会 行 について
 第三回
 日 時 昭和四十七年十月三日
 場 所 榊木立図書館本ホール
 報 告 事 項
 (一) 昭和四十八年度図書館関係季
 刊について
 協 議 事 項
 (一) 昭和四十八年度図書館関係季
 刊について
 (一) 昭和四十七年度委員会報告につ
 いて
 第四回
 日 時 昭和四十八年三月十五日
 場 所 都立中央図書館第三講堂

報 告 事 項

(一) 国庫補助金について	
(一) 国家予算の繰上について	
(一) 文部省調査費の決定について	
(一) 分派金の値上げについて	
(一) 役員異動について	
議 事 項	
(一) 昭和四十七年度の予算呈出につ いて	
(一) 国庫補助金について	
(一) 読書推進活動協議会の条件につ いて	
(一) 昭和四十八年度事業計画につ いて	
四、研究調査委員会活動 (一) 公立図書館の運営に関する研究を 行政・財政・購買の分野から当面緊急 課題をとりあげ調査研究を行なうた り	
(一) 東日本地区委員会 ○ 北日本地区委員会 青森県立図書館 47.9.20.21 宮城県立図書館 48.1.17.18.14	
(一) 中日本地区委員会 ○ 東海北陸地区委員会 愛知県立図書館 47.5.18.19 富山県立図書館 47.12.15.16	
(一) 近畿地区委員会 大阪府立図書館 47.5.12.6.27 1.10.12.48.1.12.6 1.30.48.1.3.1.12.6 48.1.1.19	
(一) 西日本委員会 宮崎県立図書館 47.11.10 高知県立図書館 2.11.9 佐賀県立図書館 48.9.9	
五、研究調査報告書の刊行 (一) 六〇〇部発行し、全国公共図 書館および関係各方面に配布した	
六、読書普及活動研究集会 (一) 北日本地区(北海道立図書館) 47.9.5.6 (一) 関東地区(群馬県立図書館) 47.11.17 (一) 東海、北陸地区(山梨県立図書館) 47.10.17 (一) 近畿地区(滋賀県立図書館) 47.10.30 (一) 中国地区(広島県立図書館) 47.11.22 (一) 四国地区(香川県立図書館) 47.11.18 (一) 九州地区(熊本県立図書館) 47.12.1.2	
七、読書普及活動研究集会報告書の刊行 (一) 三〇〇部発行し、全国公共図 書館ならびに関係各方面に配布した	
八、部会活動 (一) 公共図書館関係国家賞の増額運 動を行なった (一) 地方公共団体における図書館関係 予算の増額運動を行なった	
九、会報の発行 第四号、五号を発行した	
十、表 彰 三十六名を表彰した	

五、昭和47年度収支決算書

1. 収入の部

Table with 7 columns: 科目 (Category), 当初予算額 (Initial Budget), 修正額 (Correction), 予算現額 (Actual Budget), 収入額A (Income A), 予算現額と収入額との比較率A (Comparison Rate A), 明 (Remarks). Rows include 1. 事業負担金, 2. 国庫補助金, 3. 寄付金, 4. 雑収入, 5. 繰越金.

2. 支出の部

Table with 7 columns: 科目 (Category), 当初予算額 (Initial Budget), 修正額 (Correction), 予算現額 (Actual Budget), 支出額 (Expenditure), 差引残額 (Residual Balance), 明 (Remarks). Rows include 1. 会議費, 2. 事業費, 3. 普及費, 4. 部会交付金, 5. 渉外費, 6. 支務局費, 7. 事務局費, 8. 手働費.

繰越金 131,235円

六、昭和48年度収支予算書

1. 収入の部

Table with 7 columns: 科目 (Category), 本年度予算額 (This Year Budget), 前年度予算額 (Previous Year Budget), 増△減 (Increase/Decrease), 説明 (Explanation), 明 (Remarks). Rows include 1. 事業負担金, 2. 国庫補助金, 3. 寄付金, 4. 雑収入, 5. 繰越金.

2. 支出の部

Table with 7 columns: 科目 (Category), 本年度予算額 (This Year Budget), 前年度予算額 (Previous Year Budget), 増△減 (Increase/Decrease), 説明 (Explanation), 明 (Remarks). Rows include 1. 会議費, 2. 事業費, 3. 普及費, 4. 部会交付金, 5. 渉外費, 6. 請支費, 7. 支務局費, 8. 手働費.

- List of names and titles: 七、昭和四十八年度受賞者 (Award recipients for 1973), including 山岡克彦 (Yamagata Kikihiko), 片岡剛毅 (Katagami Tsuyoshi), 小島富雄 (Oshima Tomio), etc.

八、全国公共図書館協議会規約改正(案)

第三章 役員

(役員)
 第六條 この会に次の役員をおく
 (一) 会長 一名
 (二) 副会長 四名
 (三) 理事長 三十五名
 (四) 監事 三名
 付 則

一、この規約は、昭和四十五年六月二十五日から施行する。
 別紙一

区 分	理事数
北 日 本	4
関 東	6
東 海・北 陸	3
近 畿	4
中 国	3
四 国	3
九 州	3
図 書 館 協 議 会	7
計	33

(役員) 改 正
 第六條 この会に次の役員をおく
 (一) 会長 一名
 (二) 副会長 四名
 (三) 理事長 三十五名
 (四) 監事 三名
 付 則

一、この規約は、昭和四十七年六月二十五日から施行する。
 別紙一

区 分	理事数
北 日 本	4
関 東	7
東 海・北 陸	3
近 畿	4
中 国	3
四 国	3
九 州	4
図 書 館 協 議 会	7
計	35

分担金規程

(分担金) 現 行
 第一條 分担金は、都道府県を単位とし、都道府県の基本金四〇〇〇〇〇円に、当該都道府県内の公共図書館職員数(日本の国勢第六十六年版による)に一〇〇円を乗じた額を加え、これに一・二四を乗じた額とする。
 付 則
 この規程は、昭和四十五年六月二十五日から施行する。

別紙一

(分担金) 改 正
 第一條 分担金は、都道府県を単位とし、都道府県の基本金一〇〇〇〇〇円に、当該都道府県の公共図書館の職員数(日本の国勢第七年版による)に一〇〇円を乗じた額を加え、これに一・三四を乗じた額とする。
 付 則
 この規程は、昭和四十七年六月二十五日から施行し、昭和四十八年四月一日から適用する。

九、図書館長異動状況

館 名	新	旧	館 名	新	旧
青森県立工藤信一	高杉正秋	県立鳥取岡崎清一郎	大西正巳		
福島県立安斎善次	井沢保保	広島県立石川修	繁田豊		
千葉県立日高八郎	立石四郎	県立山口川瀬和徳	田中豊		
富山県立石原見忠	野本健一	高知県立示野社	渡田精一		
山梨県立佐久間厚幸	中沢茂隆	宮崎県立園田樹	杉田利治		
静岡県立中央小島毅	高林静夫	津浦県立大塚宗清	崎秀雄		
愛知県文化岡田英雄	寺井久	岡山県立佐藤博敏	市川彰		
滋賀県立太田主基	沢島栄一	佐賀県立宝城宗人	島内二郎		

48・6・16現在

十、全公図分担金

県 名	負 担 金	県 名	負 担 金	負 担 金
北海道	58,500円	石 川	26,800円	40,100
青 森	34,700	福 井	18,200	27,700
岩 手	25,700	山 梨	21,000	33,500
宮 城	35,500	長 野	30,600	28,900
秋 田	26,000	岐 阜	22,500	24,000
山 形	35,700	静 岡	45,300	30,200
福 島	35,700	愛 知	57,800	22,800
茨 城	24,500	三 重	24,000	37,900
栃 木	34,000	滋 賀	18,200	21,300
群 馬	37,900	京 都	22,800	21,200
埼 玉	55,900	大 阪	67,800	31,500
千 葉	49,100	兵 庫	35,500	23,200
東 京	148,200	奈 良	19,800	22,200
神 奈 川	68,100	和 歌 山	20,000	30,800
新 潟	37,600	鳥 取	18,100	16,800
富 山	36,000	島 根	29,600	1,633,000
計		計		

十一、昭和48年度役員名簿

地 区	名	理 事 名	館 名	地 区	名	理 事 名	館 名
北 日 本 (4)	△	阿部 隆郎	北海道立 北海通立	中 国 (3)	△	岡崎清一郎	鳥取県立 鳥取県立
		安倍 辰夫	宮城県立 宮城県立			速水 保孝	岡山県立 岡山県立
		佐藤 文夫	秋田県立 秋田県立			神野 力	岡山県立 岡山県立
		安斉 善次	福島県立 福島県立			村山 清	香川県立 香川県立
関 東 (7)	○	鮎川 源次郎	栃木県立 栃木県立	九 州 (4)	△	竹田 俊一	徳島県立 徳島県立
		江森 文男	埼玉県立 埼玉県立			野田 一男	高知県立 高知県立
		日高 八郎	千葉県立 千葉県立			瓜生 二成	福岡県立 福岡県立
		真岡 晴	都立中央 都立中央			佐藤 和人	佐賀県立 佐賀県立
東 海・北 陸 (3)	△	森 原 潔	神奈川県立 神奈川県立	部 会 (7)	○	園田 徳	宮崎県立 宮崎県立
		羽毛山 潤	前橋市立 前橋市立			中島 金次郎	栃木県立 栃木県立
		田村 三雄	市川市立 市川市立			布庭 六郎	千葉県立 千葉県立
		児島 幸男	福井県立 福井県立			片岡 深	山形県立 山形県立
近 畿 (4)	△	河川 利	岐阜県立 岐阜県立	監 事 (3)	△	高橋 庄次郎	埼玉県立 埼玉県立
		吉川 博明	京都府立 京都府立			高橋 正治	新潟県立 新潟県立
		松尾 一夫	大阪府立 大阪府立			八重 正	岩手県立 岩手県立
		森 耕一	大原市立中央 大原市立中央			客 渡 賢	和歌山県立 和歌山県立
富 崎 柄	神戸市立中央 神戸市立中央	小林 一好	桐生市立 桐生市立				

第二回理事会

日時 昭和四十八年十月十五日
会場 公立学校校務委員会大飯留所
なお会議録を提出

一、開 会

会長 森野 貞 副会長 政
議長 高田 河村 根氏
(岐阜県立図書館)

報告事項(事務部)

ア、昭和四十九年度図書館関係予算
案の審議について。議会の議決に基づ
き提出された要項については、全
国公共図書館協議会副会長 中島
図書館協議会幹事長等をもつて文
部大臣に提出した。※要項案につ
いての会報(125号)

イ、四十九年度の要項案については、
現在のところ文部省側の情報による
と、文部省主管予算総額一兆二
千四百五十五億円のうちの図書館
関係は、概算として二億三千万
円、三千億分十億五千万円、
移動図書館の設備費として一億五
千五百七十五万五千円が算
定された。

ウ、中島部長から協議会幹事
としての図書館関係事項を十二日
に文部大臣、文部事務次官その他へ
行ったこと報告があった。

イ、後援の異動について

滋賀県区庄林三郎氏(元)中
國書院(山内氏(元)村瀬親徳氏
(山口)が新に理事になった。

ウ、市立立図書館に対する館費削減
の補助について
資料の他に各県から報告が
あった。

群馬県 施設費の補助 一、〇〇〇
万円

神奈川県 全部の館費を国庫補助か
ら差し引いた分の三分の一

千葉県 規模に応じて、一、〇〇〇万
円、二、〇〇〇万円の範囲で

静岡県 市については約八〇〇万
円以上、町については三分の一

町については約三〇〇万
円以上、村については約二〇〇万
円以上、町については三分の一

建設、新築補助の七〇%を
国庫

エ、昭和四十八年度会費事業につ
いて

以上報告事項は一括承認され
た。

(2) 協議事項

ア、図書館の全国加入について
提案(森野(事務部))

図書館は従来の開架方式に加え
て、また、全国加入による効果
ではないかということ、開架方式

は従来のまま。このことについて
は、開架方式との割合はいつ
ている。ただ分限金については、
図書館の格上げを図る第一歩
の補助として、規模の大きい館
には不遜ではないか。その点につ
いて相談された。

又、開架方式から次のような
発言があった。

この世に於いては、図書館で開か
れた開架方式の図書館協議会を
したが、国は図書館事業に加入し
ていて、その後開架方式図書館
協議会に加入した。

全国図書館連合は、全国公共
図書館協議会であったので、取
り合っているの加入である
かということである。

現在は全国公共図書館協議会
で加入することである。

全国図書館が一地方開架地区に
限られておられるより、全国的組織
の全国加入にして全国図書館に
加入し、協力を図ること、分限金
とを削減し、昭和四十九年度
から開架方式を廃止することを
了承した。

以上の議を経て、全国図書館の全
国加入について協議と結果、決
議なく、承認された。分限金に
ついては、協議にはかかるとな
り、昭和四十九年度会費事業の変更
について

文部省から昭和四十八年度開架
補助金について十二万円の赤字が
あった。当初予定では百万円を
組んでいたので、赤字とも八百
万円を要するといふことが、
やむを得ないといふことを受け
られた。

ア、昭和四十九年度図書館関係予
算について

文部省の要請事項の内訳につ
いては、開架方式で審議した。

要請事項のうち移動図書館の購
入費補助の要項については、要
求が多額より出された。増額要
求の具体的な内訳としては、全
国加入の図書館が、地区選出の
館(往々に文教系)に電報、購
入費、開架方式の書庫の増設
に大蔵省への申請をするなど、
全国的規模で行なうことにな
った。

イ、昭和四十九年度、委員会補助
及び読書普及活動費増額補助
について

原案とおおむね承認された。

ウ、望ましい増額案について

望ましい増額案が十月十日の
館長会議に、文部省から協議
されることとなるので、全
国加入の協議をまとめるための
協議が行なわれた。

望ましい増額案は、七月末に
行なわれた館長会議で、
文部省から協議される増額
という意見も出された結果、各
府県

から積極的な姿勢で、館長会議に参
加すること、又、文部省としては、
できるだけ早期に図書館界の意見を
採り入れて、望ましい案を正式に
もたせるよう努力をかけるとい
うことで協議を終了した。

連絡事項

- (1) 分限金の納入状況について
- (2) 既読論文の購読について
- (3) 会費原簿の取扱いについて

全公図、文部大臣に 要望書を提出

—— 昭和四十九年度図書館
関係予算案 ——

全公図では六月二十日の総会議決に
基づき昭和四十九年度図書館関係予
算に対する要望書を提出し、七月三日に
文部大臣はじめ関係者は、以原野氏、
日高副会長、中島図書館協議会幹事
長、仲原事務次官らから要望書を提出さ
せ、さらに七月十三日に全国都道府県
教育委員会幹事長、全国図書館協議
会幹事長らに対し要望書を提出し、
特別の配慮と推進をお願いした。

全公図の予算案に際しては、今日の
急激な社会構造の変化の中で、

社会教育は、今後ますます重要な役割
を果たすものと見られます。

わけても、社会教育が、その使命を遂
行するうえで、公共図書館における領域
は、もろもろ重要なものがあります。とく
に最近国民の自由時間の増大に伴いその
利用についても日々増大する傾向に
あり、従前にはまして公共図書館の整備
拡充を図ることが必要であると見られ
ます。

しかしながら、現状における公共図書
館の施設・設備は、国民の自己学習や相
互教育の意欲を高め、また、高度化、専
門化した知識を習得するたには、四、
五にはなほ十分な状態ではありません。
つきましては、社会教育における図書
館の重要性を認識され、昭和四十九年
度の予算案に際しては、つぎの事項
について、予算上、財政上、特設の二
配を要望いたします。

一、施設費補助

図書館の施設費増進を図るため、現行
の施設費補助金を大幅に引き上げ、健
設計画の進捗に合わせた全館設備を対
象に一館の施設費に際して「公立
図書館の設備及び運営の確保」に示
す面積をもとに増額として、当該年度の
建設費補助額(全事業)を差し
引いた三分の一までを補助したい。

二、移動図書館設備費補助

地域住民の要望に即して、図書館の機
能を十分に發揮し、図書館サービス網

を構築するために、移動図書館の取
入設備は、ぜひとも大きい。現行図書
館をもたない地方公共団体が、移動
図書館による移動的な図書館活動を行
うとする場合も、地方公共団体に対し、
財政上の設備費(図書設備を含む)の
補助金として、一、〇〇〇万円の積
極的な補助をされたい。

三、海外派遣費

先進国における図書館の発展途
上、公共図書館のあり方、図書館の
運営を視察・調査し、もつて図書
館員の国際的視点を涵養し、専門職
としての素質の向上をはかるなど、留
学費と視察制度を創設し、海外派遣
費を算定されたい。

昭和四十八年(七月二十七日)
全国公共図書館協議会
会長 森野 貞
会費原簿管理委員長 中島 全太郎
副会長 中島 全太郎

なお、要望先は次のとおりです。

- 文部大臣 奥野 誠 亮
- 文部事務次官 河野 洋平
- 文部事務次官 村山 松雄
- 宮内大臣 井内 啓水
- 社会教育局長 今村 武俊
- 社会教育課長 田中 三郎
- 社会教育課長 沢田 徹
- 社会教育課長 柳川 光治
- 社会課長 三井 哲生

全国都道府県教育委員会幹事長

日向 美 幸
全公図事務局教育委員長 藤田 政 道
副局長 山 政 道

昭和四十九年度全公図 事業開催地決まる

四十八年十月十五日に大阪府に於
て開かれた第二回理事会で、昭和四十九
年度の全公図事業の開催地が次のよう
に決まった。なお、開催地は、日時、予
定等は未定である。

一、委員会活動

- 北日本地区委員会 秋 田
- 東日本地区委員会 岐 阜
- 関東地区委員会 栃 木
- 近畿地区委員会 大 阪
- 西日本地区委員会 高 松
- 読書普及活動研究会

二、読書普及活動

- 北日本地区 山 形
- 関東地区 静 岡
- 東日本地区 福 井
- 近畿地区 京 都
- 四国地区 高 知
- 中国地区 高 松
- 九州地区 鹿 児 島

昭和四十八年度の全公図事業

目下各地で実施中

- 一 委員会活動 (一) は担当員
 - 北日本地区 (福田)
 - 関東地区 (長野)
 - 東海・北陸地区 (坂本)
 - 近畿地区 (天徳)
 - 西日本地区 (高橋)
- 二 講習及活字研究会
 - 東海・北陸地区
 - 会場 愛知文化会館愛知図書館
 - 期日 九月四日
 - テーマ 映倫文化に対する読書のすすめ方
 - 四国地区
 - 会場 徳島県立文化会館
 - 期日 十月十日
 - テーマ 読書を生活に活かせるにはどうすればよいか

- 近畿地区
 - 会場 神戸市立別冊会館
 - 期日 十月二十日
 - テーマ 1 地域読書振興をすすめるために利用者と図書館はどのように協力していくべきか
 - 2 生活のみでどう読書を生かすべきか
- 北日本地区
 - 会場 福島市中央会館
 - 期日 十一月十二・十四日
 - テーマ 読書を生活に活かすために結びつけるか
- 九州地区
 - 会場 佐賀県立図書館
 - 期日 十一月十九・二十日
 - テーマ 読書振興をいかに際出していくか ― 借書手帳とする生活読書体制の確立をめざして
- 中国地区
 - 会場 山口県立図書館
 - 期日 十二月十日
 - テーマ 1 地域における読書振興を

- 関東地区
 - 会場 千葉県立中央図書館
 - 期日 四十九年一月十二日
 - テーマ 読書活動を進めるために読書環境をいかに整備したらよいか
- 四国地区
 - 会場 高松市立中央図書館
 - 期日 四十九年一月十二日
 - テーマ 読書活動を進めるために読書環境をいかに整備したらよいか
- 近畿地区
 - 会場 福井県立中央図書館
 - 期日 十二月十日
 - テーマ 読書を生活に活かすために結びつけるか

- 1 事例発表
 - 1 図書館の対生動と市民の結びつき
 - 白瀬長茂氏 (香中市立図書館長)
 - 2 香中市における図書館めぐりについて
 - 高岡安一氏 (香中市立図書館長)
 - 3 地域中心の小さな読書場 ― 図書館より ― をめぐって
 - 斎藤野矢氏 (札幌市立図書館長)
 - 4 地方の市立図書館の現状報告
 - 小柳 武氏 (大田市立図書館)

昭和四十九年度全国図書館大会東京で開催

来年度の全国図書館大会は東京で開催される。開催場所は十一月下旬の予定であるが内容については未定。

昭和四十九年度公共図書館部会全国研究集会開催地決まる

四十八年十月五日に大阪におきかねられた全国図書館部会公共図書館部会第二回幹事会で来年度の研究会開催

昭和四十八年度全国図書館大会開かれる

昭和四十八年度全国図書館大会は四十八年十月十七日から十九日まで高知で開催される。公共図書館部会高知地区

昭和四十八年度関東地区公共図書館「整理部門」研究集会を開催す

一 茨城

地次のように決した。開催時や内容については、追って主催者から発表される。

- 新 潟 新 潟
- 大 阪 大阪
- 名 言 語 名古屋
- 山 崎 岡山
- 宮 城 宮城

関東地区公共図書館協議会 茨城県立図書館及び茨城図書館協会主催による「整理部門」研究集会は、さきほど十一月十二日の両日にわたり、茨城・山本荘ホテルにおいて開催された。

研究主題は「資料の取扱いと選択基準 ― 成文化のための研究発表と協議 ―」で、このテーマは昨年度以来開催されたものの内容をさらに積り上げる方式で行われた。

第一日は「図書資料の取扱いと選択基準 ― 茨城について」神奈川県立図書館主任 田中 早川義典氏、「図書の選定について」東京都杉並区立図書館館長 尾崎 井芳氏の個人なら、それぞれ研究発表がなされ質疑応答の後、千葉県立中央図書館館長 井上 清氏、千葉県立中央図書館副館長 小柳 武氏を特別に選出され、研究発表の生配座すべし事項」及び「茨城県の現状と今後の課題」等



「図書館だより」

「五十周年を迎えた 名古屋市立舞臺中央図書館」

十一月一日 名古屋では公共図書館創立五十周年記念日を迎え、記念事業として文化講演会を開催したほか、五十周年の発行部数をすすめている。

また創立記念日を前にして、図書館協議会から 第四号新聞「読書振興の機能整備について ― 今後の発展と施設整備のために ―」の発刊があった。

これは、現在十二の中核館の刷新として、小規模館を整理して昭和六十年代末には、総計三十三館に集約し、さらにその外に、読書振興センターとして大々内容が盛り込まれている。

このようにして、全国に誇る名古屋市立図書館は、いよいよ第二段階の整備計画にさしかかっている。

市民読書運動をすすめる 北海道美瑛市立図書館

図書館の活用度利用率は、約三万冊の利用がある。四十五年度までは市民に地の利図書館であったが蔵書を保存するにやりの建物であったから、蔵書を起る用はここ蔵書の特長を現勢の機に思。

新築を、資料の増進と、魅力づくりの整備が功を奏したと感ずるが、しかし未だ図書館は市民に愛されておらず、市民の普及するには相当の時間と不断の努力が必要である。

かつて人口五万を擁した大都市で、石狩平野の穀地帯であった美瑛も、近代化された盛衰と石炭に委中、小樽教

業の衰退でやや荒廃をとり戻しているというものの人口五万の低密度地帯をい。反面図書館運動としては市民にやりよる若年人口に思ふが、広大行政区地であって、この状況には市民の機動力が活発である。

若い市民の総合、六年計画（四十六年―五十五年度）においても、五十年を目標として、読書振興の整備計画があるが、財政力の乏しい美瑛においては、国の強力な補助を期待しているところもある。

事業費もな、市民の英知を結集した今年度読書週間行事も、各作文発表を皮切りに、読書講座、演説と読書の会、近距離図書館、読書祭、読書コンクール、読書展覧会、などを多彩なプログラムで、今日市民読書運動に余念ない。

都道府県立指定都市立図書館長名簿

Table with columns: 館長名 (Director Name), 館名 (Library Name), 平 (City/County), 住 (Address), 所 (Location), 電 (Phone), 話 (Number). Lists 48 libraries across various prefectures.

Table with columns: 館長名 (Director Name), 館名 (Library Name), 平 (City/County), 住 (Address), 所 (Location), 電 (Phone), 話 (Number). Lists 20 libraries.

調査研究論文の募集!!

全会館では昭和四十八年度事業の一環として、周年にひきつづき全会館図書館関係者による「全会館図書に関する調査研究」を進めるため、左記により助成を行なうことになりました。よろこぶところでございます。

- 一、主題 「全会館図書」に関する研究
二、調査研究の資格者 全国の会館図書館の館長及び職員
三、調査研究の内容 助成の件数 二件
四、報告の形式 一万五千字
五、調査研究の開始 昭和四十八年十二月二十八日(木)
六、調査研究の終了 必着のこと
七、研究奨励費 一件当たり 一万円程度
八、論文の発表 提出された論文は昭和四十九年三月の「昭和四十八年度研究調査報告書」に掲載いたします。

全会館 事務局次長の異動

全会館事務局次長として十二月の東京都教育委員会に異動に伴い水田君に変わりました。水田君は元都立図書館長で、事務担当は水田君が担当することになりました。

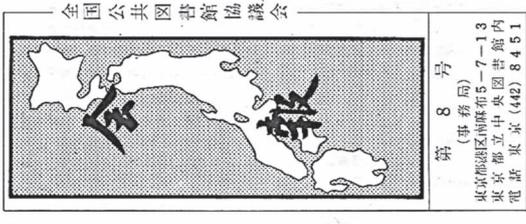
- 新 久保 一夫 都立中央図書館長
山 小 橋 正孝 会館図書部次長
山 小 橋 正孝 会館図書部次長
山 小 橋 正孝 会館図書部次長

各会館から図書請求よりをいただき、誠にありがとうございます。早速掲載を予定していましたが、事務繁忙のため、早急な対応ができませんでした。お詫言わせていただきます。今後とも会報を充実させるよう努力しますので、各地からご意見をいただければ幸いです。

お詫言わせていただきます

昭和49年6月26日

報 会 (1) 第8号 (総会特集)



一、昭和四十九年度全国公共図書館協議会定期総会次第

一、日時 昭和四十九年六月二十七日(木)
午前十一時十五分

一、場所 都立中央図書館講堂

一、開会 米沼 啓

一、議長 渡辺 謙

一、議題

(一) 昭和四十八年度業務報告および決算報告について

(二) 昭和四十九年度業務計画および予算について

(三) 国立国会図書館の加入及び規約改正について

(四) 昭和五十年年度図書館関係国家予算要望について

(五) その他

一、表彰 表彰状の贈呈
会長挨拶

二、受賞者 閉会

三、昭和四十九年度全国公共図書館協議会研究集会次第

一、日時 昭和四十九年六月二十七日(木)
午後一時四十分

一、場所 都立中央図書館講堂

一、趣旨 この研究会は、全国公共図書館相互の連絡を密にし、図書館の管理運営に関する研究を行い、図書館活動の進歩をはかることを目的とする。

一、主催 全国公共図書館協議会

一、参加資格者 会員

一、研究内容 (一) 研究発表
地区ごとに選定された会員が、公立図書館の運営に関し、行政、財政、職員、分類から課題等を課題をとりあげて調査研究し、結果を報告する。

時間	内容
1. 1. 15:00	開会、オリエンテーション
1. 1. 15:45	東日本委員会発表 (北日本地区委員会)
2. 1. 15:45	関東地区委員会発表 (東海・北陸地区委員会)
3. 3. 2. 15:45	西日本委員会発表
3. 3. 3. 15:45	研究会発表
4. 4. 15:45	閉会

二、昭和四十九年度事業計画

一、総会および理事会

(一) 総会 四十九年六月東京

(二) 理事会 五月東京
十二月東京
五年二月大阪

二、会活動

(一) 公共図書館関係国家予算の増額運動

(二) 地方公共団体における図書館関係予算の増額運動

(三) 望ましい基準案の早期実現

(四) 研究会活動

(一) 全国調査研究会 六月東京

(二) 委員会活動

① 東日本委員会
○北日本地区委員会(佐田氏)
公共図書館振興方策について
② 関東地区委員会(渡辺氏)
望ましき他(案)に関して
③ 中部日本委員会
④ 近畿地区委員会(大塚氏)
⑤ 西日本委員会(山口氏)
⑥ 関西地区委員会(山形市) 五月十七日、十八日
⑦ 中国地区委員会(高橋氏)
⑧ 四国地区委員会(高橋氏)
⑨ 九州地区委員会(鹿島氏) 五月二十日、二十一日

三、情報活動

(一) 会報発行 一回

(二) 研究報告書 発表及活動研

司書の質向上についての考察

② 中部日本委員会
○高橋・北陸地区委員会(渡辺氏)
図書館サービスの研究調査
○近畿地区委員会(大塚氏)
公共図書館の現状分析とその考察

③ 西日本委員会(山口氏)
図書館ネットワークの拡充について

(三) 関西地区委員会
① 北日本地区
(山形市) 五月十七日、十八日

② 関東地区
(静岡市) 五月十八日

③ 東海・北陸地区
(新井市) 六月一日

④ 近畿地区
(京都市) 七月一日、二日

⑤ 中国地区
(高橋氏) 十二月下旬

⑥ 四国地区
(高橋氏) 十二月下旬

⑦ 九州地区
(鹿島氏) 十二月二十六日

第8号 (総会特集) (2)

昭和49年6月26日

研究会報告書の発行

五、表彰 九州一名前(三四)

四、昭和四十八年度事業報告

一、総会

日時 昭和四十八年六月二十七日
午前十一時十五分

場所 都立中央図書館講堂

議長 河村 稔氏(岐阜県立)
前川 勝氏(名古屋県立)

議題 (一) 昭和四十七年度業務報告及び決算報告について

(二) 昭和四十八年度業務計画及び予算要望について

(三) 国立国会図書館の加入及び規約改正について

(四) 昭和五十年年度図書館関係国家予算要望について

(五) その他

二、理事会

第一回

日時 昭和四十八年五月二十八日

会場 都立中央図書館二階講堂

議長 河村 稔氏(岐阜県立)
前川 勝氏(名古屋県立)

報告事項

(一) 会費徴収率の検証について

(二) 研究報告書発表、発表及活動研究会報告書の発行について

(三) 規約の改正について

① 職員 関東一名前(六七)

② 九州一名前(三四)

協賛事項

(一) 昭和四十七年度業務報告 決算について

(二) 昭和四十八年度業務報告 予算について

(三) 表彰について

(四) 総会、研究会の日程について

(五) 研究会発表案について

(六) 銀行借入について

(七) 都道府県の町村立図書館に対する補助の今後について

同日

日時 昭和四十八年十月十五日

会場 公立中央図書館合宿施設

議長 河村 稔氏(岐阜県立図書館)

報告事項

(一) 昭和四十九年度図書館関係国家予算の要望について

(二) 研究会発表案について

(三) 職員 関東一名前(六七)

(四) 九州一名前(三四)

協賛事項

(一) 国立国会図書館の加入について

(二) 昭和四十八年度公立図書館の要望について

(三) 昭和四十九年度図書館関係国家予算の要望について

算について

(一) 昭和四十九年度委員会活動及び発表報告書及び活動研究会前編地について

(二) 望ましき基準案について

第三回

日時 昭和四十九年五月二十七日(木)

会場 都立中央図書館二階講堂

議長 河村 稔氏(岐阜県立図書館)

報告事項

(一) 昭和四十九年度国家予算増額運動について

(二) 昭和四十九年度国家予算(案)について

(三) 昭和四十八年度分振納入状況について

(四) 職員 関東一名前(六七)

協賛事項

(一) 昭和四十八年度決算見込みについて

(二) 国立国会図書館加入に伴う会費および規約の改正について

(三) 昭和四十九年度業務計画について

(四) 昭和四十九年度予算について

(五) 職員 関東一名前(六七)

(六) 昭和五十年年度図書館関係国家予算増額運動について

(七) 公立図書館の設置および運営に関する基準(案)早期実現の現状及び今後について

三、会の活動

公共図書館関係国家予算の増額運動を行なつて成果を得た。

四、研究調査活動

(一) 昭和四十八年度全国調査研究会
昭和四十八年六月二十七日
午後十二時四十分
都立中央図書館講堂
議長 前川 勝氏(名古屋県立)
河村 稔氏(岐阜県立)

① 東日本委員会
北日本地区委員会
発表 工藤 信氏(青森県立)
テーマ 「公共図書館の目指す具体的な目標(望ましい基準)はどうか」

② 関東地区委員会
発表 日高 八郎氏(千葉県立)
テーマ 「都立立市町村図書館の機能分担——県立図書館の機能(各市の現状)」

③ 中部日本委員会
東海・北陸地区委員会
発表 河村 稔氏(岐阜県立)
テーマ 「図書館サービス網の形成と発表」

④ 近畿地区委員会
発表 松尾 一夫氏(大阪県立)
テーマ 「公共図書館における業務分担の一例」

十二、昭和49年度全公図分担金

Table with columns: 地区名, 分担金, 県名, 分担金, 県名, 分担金. Lists regional contributions for fiscal year 1974.

十三、昭和49年度全公図役員名簿

Table with columns: 地区名, 理事名, 地区名, 理事名, 地区名, 理事名. Lists board members for regional public maps.

- List of committees and their activities, including the National Public Map Commission and various regional committees.

八、国立国会図書館の加入及び規約の改正
(一) 加入
国立国会図書館の全国生図書館協議会加入については昭和四十八年十月十五日開かれた昭和四十八年度第三次理事会で承認されている。

(4) 役員改選および規約改正について
 (第8号の丸)
 公共図書館部の役員に合わせ、別紙十二の簿の全会図の役員に任期を四十九年度限り一年とする案は異議なく承認された。

(5) 昭和五十年図書館関係予算要項について
 要項審の原案は日本地区協議会中子とし、各地域からの要項を長公約的に集約して作成した。要項審について概算に協議したところ図書館部の設置、図書館購入費、要項審の補助、図書館拡大の予算増等も加えるべきとの意見も出された。結局原案は①歳入補助助、②移動図書館補助費、③海浜建設費の三点にほぼ原案の段階で承認を文部省に出すことが承認された。

議事終了 二時四十分

一、表彰
 (1) 感謝状呈呈 船ヶ原次郎代理
 (2) 表彰状呈呈 平井輝 小津義長 水島義男 金田元亮 以上出席者

会報報告
 報告者 杉野 井井 輝
 閉会 二時

昭和四十九年度全国研究集会
 日時 昭和四十九年六月二十七日
 場所 都立中央図書館講堂
 午後二時～四時
 議長 前川勝氏(名古屋市動植物園) 機関誌
 河村義氏(岐阜県立図書館)

一、東日本委員会
 (1) 北日本地区委員会
 発表 佐藤圭代(秋田県)
 テーマ「望ましい基準(案)に照らし」
 研究調査報告書 107 P
 委員会では四十七年度の研究成果をまよえさらに四十八年の主題に問題として示された「望ましい基準(案)」を重点として、その分析テーマをポイントとして次の分析テーマを整理して研究調査を行った。

・市町村立および都府県立の「施設」
 について(市町村立の「分館」および市役所市町村(施設)推進を含む)
 ・市町村立および都府県立の「職員」
 について(職員研修問題を含む)
 ・市町村立および都府県立の「資料収集」について

(2) 関東地区委員会
 発表 太田伸博氏(長野県)
 テーマ「都立立正区立図書館の機能分限 市立区立図書館の機能」
 機関誌
 研究調査報告書 21 P

関東地区から、日立市立記念図書館ほかに図書館を選び、図書館の現状問題、採集への課題等研究し、機分分担についての取組程度を調査した。

(1) 中部日本委員会
 発表 北野理恵氏(岐阜県)
 発表 河村義氏(岐阜県立)
 テーマ「図書館サービス網の形成を促す」
 研究調査報告書 61 P 88 P
 四十八年度はテーマに照し下に調査を置いて研究調査を行った。
 ・図書館サービス網の概念の明確化
 ・サービス網の内容、機分分担の問題、広域活動のあり方とその充実、さらなる発展

(2) 近畿地区委員会
 発表 玉田美子(大阪府中之島)
 テーマ「公共図書館の現状分析とその考察」
 研究調査報告書 79 P 88 P
 四十八年度は上記の研究テーマに照して調査項目の検討などに調査表・記入要項を作成し、四十九年度に調査の集計分析とその考察をならしこととを決定した。

三、西日本委員会(中国、四国、九州)
 発表 東本保孝(広島県立)
 テーマ「公共図書館の現状と課題」
 研究調査報告書 89 P 107 P
 この調査は、昭和四十八年度全国公

共図書館協議会西日本委員会による調査研究「調査」により、本調査法二四条に基づき多岐にわたる調査された公民館のうち一六七六七戸(一六七一戸)に所在するものを調査調査したものである。今回の調査により、各地に所在する公民館図書が調査し施設・職員資料を備えており、組織力を行なう図書館にかかわり、調査を施行することができると思われた。

昭和四十九年度第一回理事会
 日時 昭和四十九年五月二十九日
 会場 都立中央図書館三階教室
 一、閉会
 会長 杉野 貞尚氏
 会務担当 河村義氏(岐阜県立図書館) 議長
 一、議題 伊東事務局長説明
 (報告事項)
 (1) 新調査報告書、読書普及活動研究委員会委員の発行について
 (2) 役員改選について
 (協議事項)
 (1) 昭和四十八年度事業および決算報告について
 事務局長説明後、青龍館から事業は適正に遂行され、職員待遇確保、庶務書類整理進捗であると報告が行われた。

以上について承認された。

(2) 昭和四十九年度事業および予算につ

いて
 事業のうち、図書館除く資料補助は全会図が例年同様採算するだけでなく、各館長及び図書館協議会それぞれ関係者に積極的に働きかけられた。

また「望ましい基準」については早期実現を図るため四十九年度の各活動の3に加え、その実施が承認された。予算については二・三の増額があった。後援案とも承認された。

(3) 図書館の加入に伴う規約改正について
 原案を承認された。

(4) 表彰について
 原案を承認された。

(5) 昭和四十九年度図書館関係予算に關する調査事項について
 要項審において、概算の概算(昨年度同様「施設補助助」・「移動図書館車購入費補助」・「社会教育推進費」外派遣費補助)の三を並し逐ることとし、文言については協議委員を連呼してまとめることが決まった。なお、要項審事項以外の要項審については、別紙に全会図が所定をない実現方を期することとなった。

(6) 役員改選について
 全会図と会報委員の役員任期は一年の満いがあると同期にした案が昨年考案ワックからあった。全会図の役員改選が四十九年度に行なわれ、その間に、ワックの意見を集めたこと

を、四十九年度二年限りとし、五十年限から全会図・公共部会の役員任期を同じにして改定することが決定した。なお、新役員及び規約の一部改正については、委員会に承認することになった。

(7) 委員会 研究集会の日程について
 六月二十七日(木)の午前に総会(午後)に研究集会を開催することが承認された。

(8) 総会議長・副議長選出について
 事務局に一任された。

(9) 研究集会委員選出について
 各地区委員会委員選出の議長が発表することが決定した。

(10) 銀行借入について
 事業の円滑な遂行を図るため、四十九年度の銀行借入について承認を求めたこと、四国補助の受領時期や借金の状況から、むづかしいものを承認された。

第二回理事会
 日時 昭和四十九年十一月五日(金)
 午後五時～七時
 会場 東京都立中央図書館第三会議室

一、閉会
 会長 杉野 貞尚氏
 会務担当 河村義氏(岐阜県立図書館) 議長

一、議題 事務局説明
 (報告事項)
 (1) 昭和五十年図書館関係調査の要項について
 十一月七日に河村義氏、中島図書館協議会会長、日高副会長、中野事務局長が調査表を提出し、文部省はじめ図書館協議会に調査表を提出した。

(2) 役員改選について
 水島義男氏(福井県立図書館)が議長に選出されたため、東部・北陸地区の理事は、佐田小津部夫氏に就任された。

(3) 昭和四十九年度全国調査について
 調査会活動、読書普及活動について、一、開催時期等について概況報告があった。

(4) 分館納入状況について
 四十九年十月三十一日現在の納入八四・五八(%)を報告後、事業の円滑な実施を図るため、本委員会は早速に導入されたにも、事務局が要項があった。

(5) 読書普及について
 四十八年度は読書普及がなかったこと

について、R不足ではないかとの質問があったが、事務局から八月に文書で原案が提出されたほか、各館長にも指導した旨報告があった。五十九年度の調査については十月初旬に全会図館長あての調査表であると報告があった。

(協議事項)
 (1) 昭和五十年図書館関係予算に關するについて
 文部省の調査要求の経緯について説明があった。要項審委員の選出方法について協議した。事務局は図書館長が図書館協議会委員が地元選出の代議士に依頼し働きかけること、協議も有効であると承認され全会図としてまとめる方針が打ち出された。また、調査表の提出方法で増額補助を説明することになった。

(2) 昭和五十年調査委員選出および調査普及活動研究委員会開催について
 原案を承認された。

昭和四十九年度全国図書館大会開かれる
 昭和四十九年度の全国図書館大会は四十九年十一月六日から(日)まで東京で開催された。この中で「図書館」を「図書館相互の協力」をすめようとする「ワック」を掲げたこと、大会は研究・文化・普及・一六〇〇名の参加者が東京文化会館 同博物館等一〇会場で一七部会

昭和50年1月15日

会 報

第9号 (10)

館長名	館名	千	住	所	電	話
小林俊夫	大阪府立夕陽丘	5 4 3	大阪市天王寺区俗人町21-1		06-772-4660	
白井康夫	兵庫県立	6 7 3	明石市明石公園1-27		078-918-3366	
前山豊巳	神戸市立中央	6 5 0	神戸市生田区船場7-2		078-371-3351	
大東延和	県立奈良	6 3 0	奈良市役人路町		0742-23-8921	
大東延和	県立福原	6 3 4	福原市役所50		07442-4-1104	
客嶋賢	和歌山県立	6 4 0	和歌山市1番丁1		0734-22-1706	
岡崎清一郎	県立鳥取	6 8 0	鳥取市西町3-202		0857-22-4859	
松尾陽吉	県立米子	6 8 3	米子市久米町136		0859-22-2612	
速水保孝	鳥取県立	6 9 0	松江市内中原町52		0852-22-5725	
神野力	岡山県総合文化	7 0 0	岡山市天神町8-54		0862-24-1286	
新川貞之	県立鳥取	7 3 0	広島市上郷町2-20		0822-21-1133	
林二郎	県立山口	7 5 3	山口市大字後河原字松原150-1		08392-2-0154	
竹田俊一	徳島県立	7 7 0	徳島市徳島町城の内1		0886-52-3151	
宮本輝男	香川県立	7 6 0	高松市番町1-11-63		0878-61-5562	
越智通敏	愛媛県立	7 9 0	松山市二番町4-7-1		0899-41-1441	
赤野昇	高知県立	7 8 0	高知市の内1-1-15		0888-72-6307	
森田貫	福岡県文化	8 1 2	福岡市天神5-2-1		092-741-8591	
宝蔵寺和人	佐賀県立	8 4 0	佐賀市城内2-1-41		09522-4-2900	
竹下哲	県立長崎	8 5 0	長崎市上西山町1		0958-26-5257	
小山庄三郎	熊本県立	8 6 0	熊本市千葉渡町2		0963-35-6266	
佐藤義士	県立大分	8 7 0	大分市御旗町3-31		0975-32-8185	
岡田穂	宮崎県立	8 8 0	宮崎市通東1-9-26		0985-23-2057	
芳	鹿児島県立	8 9 2	鹿児島市城山町1-1		0992-23-9241	
大城宗清	沖縄県立	9 0 0	那覇市字首里312		0988-32-2858	
斎藤邦男	札幌市立	0 6 0	札幌市北2条西12丁目		011-231-8581	
大田俊二郎	横浜市立	2 2 0	横浜市西区老松町1		045-231-1304	
前川勝	名古屋市舞臺中央	4 6 6	名古屋市昭和区鶴舞町1丁目1番155号		052-741-3131	
森	大阪市立中央	5 5 0	大阪市西区北堀江御池通5-1		06-531-0551	
小林安可	北九州市立中央	8 0 3	北九州市小倉北区城戸4-1		093-571-1481	

(9) 第9号

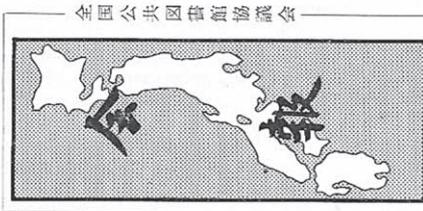
会 報

昭和50年1月15日

都道府県立指定都市立図書館長名簿

館長名	館名	千	住	所	電	話
阿部信郎	北海道立	069-01	札幌市西野幌592		01138-6-8521	
工藤信一	青森県立	0 3 0	青森市新町2-4-30		0177-23-2301	
萩原芳	岩手県立	0 2 0	盛岡市内丸1-50		0195-24-2515	
大竹金弥	宮城県立	9 8 3	仙台市船ヶ丘5		0222-56-8401	
佐藤文夫	県立秋田	0 1 0	秋田市千秋町2-52		0188-33-5411	
岩田慶恩	山形県立	9 9 0	山形市七日町3-1-23		0236-31-2525	
安斉善次	福島県立	9 6 0	福島市松木町1-1		0245-35-3218	
嶋田孝之	茨城県立	3 1 0	水戸市三の丸1-5-56		0292-21-5569	
落合俊昭	栃木県立	3 2 0	宇都宮市稲田町1-3-23		0286-22-5111~3	
岡俊治	群馬県立	3 7 1	前橋市城東町2-3-3		0279-31-3008	
中藤晋八郎	埼玉県立浦和	3 3 6	流和市長砂3-1-22		0488-29-2821	
江袋文男	埼玉県立熊谷	3 6 0	熊谷市箱田350-1		0485-23-6291	
日高八郎	千葉県立中央	2 8 0	千葉市市野町66-11-1		0472-22-0116	
貞岡晴	都立中央	1 0 6	港区南麻布5-7-13		03-442-8451	
松田芳太郎	都立日比谷	1 0 0	千代田区日比谷公園1-4		03-502-0101	
見山隆	都立青梅	1 9 8	青梅市青梅288		0428-22-2975	
藤木佐太郎	都立立川	1 9 0	立川市錦町6-3-1		0425-24-7221	
工藤文雄郎	都立八王子	1 9 2	八王子市京町5-13		0426-45-1086	
羽毛田潔	神奈川県立	2 2 0	横浜西区紅葉ヶ丘9-2		045-231-8635	
阿部宗芳	神奈川県立川崎	2 1 0	川崎市川崎区富士見2-1-4		044-233-6537	
伊藤新作	県立新潟	9 5 1	新潟市一番瀬通5977		0252-28-3240	
石原見恵	富山県立	930-01	富山市茶屋町206-3		0764-36-0178	
国田太郎	石川県立	9 2 0	金沢市木多町3-2-15		0762-31-3291	
小林郁夫	福井県立	9 1 0	福井市宝永3-11-16		0776-24-5167	
上野正	山梨県立	4 0 0	甲府市の内3-33-1		0552-26-2589	
大田今朝秋	県立長野	3 8 0	長野市長門町1097		0262-94-3251	
河村稔	岐阜県立	5 0 0	岐阜市大宮町1		0582-65-0136	
小島毅	静岡県立中央	4 2 0	静岡市谷田20		0542-62-1241	
岡田英雄	愛知県文化	4 6 1	名古屋市中区大塚町8-8		052-971-5511	
山川修吉	三重県立	5 1 4	津市広明町147		0592-28-4841	
平田守衛	滋賀県立	5 2 0	大津市京町3-4-22		0775-22-3872	
宮本英男	京都府立	6 0 6	京都市左京区岡崎成勝寺町9		075-771-0069	
玉田義美	大阪府立中之島	5 3 0	大阪市北区中之島1-27		06-203-0474	

49. 1. 1 現在



第 10 号
 (事務局)
 東京都港区南麻布5-7-13
 電話 東京 (03) 845-0113



総会報告 特集号

昭和五十年年度総会の要綱総会は、去る六月二十六日午前時から、東京都立中央図書館講堂で開催された。全国地から参加された約百名の会員によって、終日盛況のある総会が行われ、次のとおり五十年度の事業計画、予算案など大衆的であったので、報告する。

一 来賓祝辞

文部社会教育局長 教育課長
 堀津有彦氏

「国書は、図書館の発展に重要な役割を果たし、今、図書館の重要性を身にしみ、啓蒙しているところである。図書館事業について、皆様にご協力いただいていることは、ありがた。これから協力を願う。今後、人口五百万以下町村や、分館の編制など、問題にも、積極的に取り組んでほしい。」

図書館法第十八条による「望まじき関係」については、理系、各方面に、案の検討をお願いしている。そのうえで、なるべく早く出した。案の中には、単価によるサレヒスから、網によるサレヒスという考えをとり、また、新事業の期に對する配慮についても言及した。現在、そういうことで努力中であるので、どうかご了承いただきたい。」

日本図書館協会理事長 斎藤敏氏

「今年は、図書館法成立二十五周年の年である。日国協には、今年が歴史があり、その間、いろいろ日本の文化の向上に貢献してきたと思。これからは日本の図書館、日本図書館協会、そして日本の文化の向上のため、皆様のご協力を願う。」

二 議長選出

次の一六選出され、午前午後となり総会議事および祝賀会の議長をつとめた。

斎藤和久氏 (佐賀県図書館長)
 柳川 勝氏 (名古屋立図書館中央図書館長)

三 議題

- ① 昭和五十年・五十二年役員改選について (事務局説明)
- 「作段から推せられた理事の方の中から、去る五月二十九日開かれた理事会において、会長、副会長が互選された。歴史についても、年度から推せられた。ご承認いただきたい。」
- そのほか、別掲(九〜一七)のとおり、承認された。ひきつづき、新会長は、柳川勝氏 (名古屋立図書館長) の孫が、あつた。(新会長挨拶)

昭和50年度全国公共図書館協議会 定期総会次第	
開 会	議 題
1 来賓祝辞	出 席
2 議長選出	議 案
3 議 決	
① 昭和50、51年度役員改選について	理事の承認
	会長および副会長の承認
	監事の選出
	新役員挨拶
② 昭和49年度事業報告および決算報告について	
③ 昭和50年度事業計画および予算案について	
④ 昭和51年度分組金の仮上げについて	
⑤ 昭和51年度図書館関係団体加盟料について	
⑥ その他	

「図書館の仕事を携わっている三年になろうとしている。全国協会会長をひきつづきお受けする事になったが、大変いならぬ。多く、また、皆様も職員が、お替りした不慣れた点も多々あると思。ひとりに皆様のご協力をお願いする。ごめんなさい。よろしく願います。」

② 昭和49年度事業報告および決算報告について
 別掲(四〜一七)のとおり承認された。ひきつづき、理事平井氏、理事藤田氏、理事立川氏から監事の推挙が行われた。(監事挨拶)

「五月二十九日の理事会に先立ち、昨年度の監事、藤田氏 (専任立図書館長)、小林二好氏 (兼任立図書館長)、それと私が、報告を行った。その結果、収支は適正である認め、ご報告する。」

③ 昭和五十年事業計画および予算について
 別掲のとおり承認された。(五〜六〜一七)

④ 昭和五十二年分組金の仮上げについて (事務局説明)

「諸君御意見を考慮して、昭和五十二年分組金を改定し、若干の改換を待

た。昨年の監事選出に問題視し、その後各グループでの検討を経て、前回の理事会において、一課平均一万円の値上げが基本に定された。改定案は、各都道府県に基本金二万円、一万七千五百円にする。これに一三四課平均一万五千円になるが、この課数を切り捨て、別表のとおり、各課平均一万円の値上げをするものである。改定は、五十二年四月一日から施行する。

なお、五年前にたり、図書館協会から、毎年五十万円の補助を交付、図書館普及事業の推進に努めてきたが、諸君の賛同により、五十二年度はこれをも切らせてもらいたい。この決議がきいている。この件についてご承認するかは、今般理事会で、ご検討していただく事である。」

(附 録)

職員「現行分組金規程では、職員を日本の図書館七十年版」として、現職の職員数は毎年かわっている。また、一三四といふ数にとくに組織はない。今般職員総体に、すっきりしないものがある。したがって、この際、改定に際して、理事も、一課として、各課の財政力の差を考慮し、各課の異額は、専任、兼任の半分を財政力に、人口、または職員数などに、正比例配分によるものか。あと二年くらいかけて、もとに改定する。この決議を要する。」

次(五〜一七)の事情を、おなじ

論 評 資

から五十二年度にむけて、最善のものを考えたい。事業遂行を準備する必要がある。事業を遂行するには、分限金上げなければならぬし、分限金減額であるならば、事業を縮小しなければならない。

まきばらの読進協の助成のほか、現任うけても文庫の補助金についても百万円以下の補助金があるという情報もある。いつまでもたてまつていてよいか、という問題もある。

これらの諸点も含めて、さらに検討してほしい。

以上の経緯のもと、原案どおり承認された。

またこの附議にもまきばら、とくに国立図書館から五百万の分限金を他県にない、一万円単位の補助金を、これを受けて、これを分限金増額は、別紙(七-二)のとおり決定した。

⑥ 昭和三十九年度図書館関係予算案について

(事務局説明)

「財政の声を集めていただいたものをまとめた。地蔵の特殊性などもあつ、いろいろ説明がなされた。が、まきばら財政事情を考慮し、案とおく、三年度しぼりさせていただいた」

「要項は、後添サイトだけは

調い。図書館員で、図書館を解してくられる人々を補ってゆく必要がある。意見として、読進補助金を増やすものにする事も検討したい」

「会長」一年、大蔵省、文庫の関係局長、その他に対し、要約書を手渡しし願っている。来、参院の先生方にもお見せしたいと思つて、な、んといつても地元の力が強いと思うので、各地で読進に協力してほしい。特定要約書があら、ぜひ出してほしい。要約書はたくさん準備している。よろしくお願ひしたい」

以上の発言が、表現の訂正委員があり、その要約書(一)のとおり決定した。

⑦ その他

「『望ましい基準案』その後どうなる経過をたどっているか」

答(会長)「文庫省に問いただころによると、現在、都道府県社会教育課長協同会に要約書展示して、検討を依頼したというところである。問は、財政を担当する側からいふ意見が、この三月に出る予定だ。足踏みとして、この三月のことだが、『望ましい基準案』もあるから、説明したい。よく、あくまでも努力目標であると考えらるので、早急にだしてほしい。関係は、働きかける必要がある」

また、本日の午後二件につき文庫省

に行く予定である。午後、時間をとつて、その結果を報告するつもりである。

総務部 午前十一時三十分

午後、総務部、後、会長、副会長が文庫省にゆき、社会教育課長等と話しあつた結果は、後、の研究会(報告)のあい間に、次のとおり報告された。

「去る六月十三日、東京府の国立社会教育研究所で開かれた都道府県社会教育課長等会合で、東京府の社会教育課長、各課長が出席し、協会の役員に挨拶をした。当日は、間の都合で時勢ができたので、持ちかえつてまどめた意見も提出していただくことになつてゐる。各県において、社会教育課の意向を徹底してほしい、というところであつたので、よろしくお願ひしたい」



望ましい基準案に関する経緯

望ましい基準案は、図書館法第十八条「文庫大臣は図書館の健全な運営を図るため、公立図書館の運営および運営に要する基準を定め、これを教育委員会に提示するとともに、一般公表をして示すものとする」を受けその制が強く要望されているものである。

過去においてこの件につき二回にわたり社会教育課長会協会の報告が行われた。

第一回は昭和四十二年であり、第二回は昭和四十八年である。この第二回のものが、現在、いろいろな望ましい基準案であり、各地の図書館関係者がすでにいろいろ検討し、利用もしているものである。

報告をされた文庫省側は、関係方面の意見も踏まえ、ならぬ形で正式に示したい考えで、五十年三月末をもちに作業を進めてきたが、残念ながら見送られ、現在、待つてゐるものである。

昭和49年度決算書

1. 収入の部		子 算 額		収入額		増△減		明 説	
科	目	当	補	算	A	B	A-B		
		初	正	正	現				
		算	算	算	現				
		額	額	額	額				
1.	事業年度分	1,683,000	0	1,683,000	1,683,000	0	0		
2.	国庫補助	1,683,000	0	1,683,000	1,683,000	0	0		
3.	国客補助	500,000	0	500,000	500,000	0	0		読進協
4.	雑収入	1,000	6,062	7,062	7,062	0	0		預金利息
5.	繰越	217,191	0	217,191	217,191	0	0		
	計	3,321,191	6,062	3,327,253	3,327,253	0	0		
2. 支出の部									
科	目	当	補	算	算	支	出	額	明 説
		初	正	正	算	出	額		
		算	算	算	額	額			
		額	額	額					
1.	議会	140,000	0	140,000	135,350	4,650			謝金・印刷代・会議費
(1)	総務	70,000	0	70,000	66,100	3,900			
(2)	理事	70,000	0	70,000	69,250	750			
2.	事業	2,203,000	0	2,203,000	2,203,000	0			
(1)	公立図書館に関する研究費	1,057,000	0	1,057,000	1,057,000	0			
(2)	読書普及活動費	1,146,000	0	1,146,000	1,146,000	0			
3.	図書普及	140,000	0	140,000	140,000	0			会費
4.	社会	140,000	0	140,000	140,000	0			図書館協議会等
5.	渉外	90,000	0	90,000	87,920	2,080			文庫省その他
6.	支務	450,000	0	450,000	449,380	620			表彰関係その他
7.	事務局	150,000	0	150,000	149,900	100			70 郵送・印刷・消耗品
8.	職員	300,000	0	300,000	300,000	0			職員雇上げ
	計	63,191	6,062	69,253	69,253	0			
	計	3,321,191	6,062	3,327,253	3,235,432	91,821			翌年度繰越額 91,821円

昭和四十九年度事業報告

1 総 会
日時 昭和四十九年六月十七日
午前一時
場所 東京都中央図書館第三
議長 河村 徳氏(公立図書館長)
前川 勝氏(名古屋立範館中
共図書館長)

2 理 事 会
第一回
日時 昭和四十九年五月二十九日
場所 東京都中央図書館第三
議長 河村 徳氏(公立図書館長)
第二回
日時 昭和四十九年十一月五日
場所 東京都中央図書館第三
議長 河村 徳氏(公立図書館長)

3 会 務 活 動
日時 昭和四十九年二月十四日
場所 大阪府方崎正図書館
議長 前川 勝氏(名古屋立範館中
共図書館長)

4 研究調査活動
(1) 全国館長会
(昭和四十八年度委員活動成果

昭和50年度事業計画

- 1 総会および理事会
 (1) 総会 日時 50年6月26日(木) 於 都立中央図書館
 第1回 50年5月29日(木) 於 〃
 (2) 理事会 日時 50年10月20日(月) 於 玉山会館(名古屋市)
 第2回 51年2月下旬 於 都立中央図書館
 第3回

- 2 会の活動
 (1) 図書館間図書館家の連携運動
 (2) 地方公共団体の図書館予報連携運動
- 3 研究調査活動
 (1) 全国研究集会 日時 50年6月26日(木) 場所 東京都立中央図書館講堂
 (2) 委員会活動

委員会	担当	県	市	区	町	村
北日	水北	北海道	小図書館の振興について			
関東	東神	神奈川県	図書館事務省力化のための基礎調査			
東海	北陸	岐阜県	図書館サービス網の調査研究 - 移動図書館 -			
近西	畿大	大阪府	図書館の振興方策について			
西日	本徳	鳥取県	図書館活動における行政資料収集の現状と問題点			

地区名	担当	市	区	町	村	期日	会	場
北日	木青	青森県	読書運動の進め方			9月18日 ~19日		青森県立図書館
関東	東新	新潟県	親と子どもの読書をどうすすめるか			10月17日		新潟市中央公民館
東海	北三	三重県	組織を利用した読書普及のあり方			11月14日 ~15日		鈴鹿市鈴鹿青少年 スポーツセンター
近畿	畿奈	奈良県	子どもと読書			10月9日		奈良文化会館
中国	国鳥	鳥取県	読書活動のしめ			11月28日		米子市 総合研修センター
四国	国愛	愛媛県	読書活動における効果的な読書推進体制の形成			11月21日		愛媛県 教育文化会館
九州	州長	福岡県	家族における読書をすすめるには			9月25日 ~28日		長崎県立労働福祉会 館

- (4) 研究調査報告書の発行(2種)
 「昭和50年度研究調査報告書」
 「昭和50年度読書普及活動研究会報告書」
- (5) 調査研究論文の募集(2件)
 研究奨励費 1万円
 テーマ 「公共図書館の行政に關する研究」
 応募資格 全国公共図書館職員
- 4 情報活動
 (1) 会報の発行 2回
 (2) 都道府県指定都府立図書館交換資料の作成 年1回
 5 表彰 表彰決定により行う。

昭和50年度予算書

(単位:円)

収入の部	科目	目	50年度	49年度	増△減	説明
1. 事業年度分担金	1. 事業年度分担金	金	1,683,000	1,683,000	0	
		金	1,688,000	1,683,000	0	
		金	1,000,000	920,000	80,000	
		金	500,000	500,000	0	読進協
		金	1,000	1,000	0	預金利息
5. 繰越		91,821	217,191	△ 125,370		
計		3,275,821	3,221,191	△ 45,370		

支出の部	科目	目	50年度	49年度	増△減	説明
1. 会議	(1) 総会	役員費	140,000	140,000	0	
		会費	70,000	70,000	0	会議費・印刷費等
		雑費	70,000	70,000	0	〃
		研究費	2,203,000	2,203,000	0	
		研究費	1,057,000	1,057,000	0	
		研究費	1,146,000	1,146,000	0	
		研究費	140,000	140,000	0	会報
		研究費	150,000	140,000	10,000	協議会部会
2. 事務	(1) 図書普及	出張費	85,000	85,000	0	文部省・その他
		出張費	90,000	90,000	0	表彰・その他
		出張費	430,000	450,000	△ 20,000	旅費・通信費等
		出張費	130,000	150,000	△ 20,000	職員雇上り
		出張費	300,000	300,000	0	
		出張費	27,821	63,191	△ 35,370	
		出張費	3,275,821	3,221,191	△ 45,370	
計		3,275,821	3,221,191	△ 45,370		

- (2) 調査研究論文の募集
 日時 昭和四十九年六月二十七日
 午後二時
 場所 東京都立中央図書館講堂
 (2) 昭和四十九年度読書普及活動研究会報告書
 調査五地区で、各館にわたって行われた。研究調査の調査結果、研究会の報告を参照された。なお、「昭和四十九年度読書普及活動研究会報告書」の調査結果に「昭和四十九年度読書普及活動研究会報告書」の調査結果に配付されているので、参照されたい。
- (3) 昭和四十九年度読書普及活動研究会
 会報の発行(二回) 既約
 調査五地区で開催された。なお、昭和四十九年度読書普及活動研究会報告書が刊行され全国の図書館に配付されているので、参照されたい。
- (4) 調査研究論文の募集
 日時 昭和四十九年度読書普及活動研究会報告書
 東京都立中央図書館 山根隆博 先生
 東京大学 菅原洋樹 氏
 テーマ 「母親の読書推進活動について」
 (調査研究論文は、昭和四十九年度研究)
- 5 情報活動
 (1) 会報の発行(二回) 既約
- 6 表彰
 表彰状 結々順次氏(会報編集長)
 表彰状 荻谷二郎氏(東京都立図書館協議会委員) 他十六名
 昭和四十九年六月二十七日定期総会の
 議事録

昭和50・51年度役員名簿

◎ 会長
○ 副会長
△ 地区代表理事

Table with columns: 地区 (Region), 氏名 (Name), 館名 (Library Name), TEL, 所在地 (Address). Lists members across various regions including Hokkaido, Tohoku, Kanto, and Chubu.

Table with columns: 氏名 (Name), TEL, 所在地 (Address). Lists members from the Kansai region.

昭和50年9月1日現在

研究集会報告

六月二十六日午後一時から昭和四十一年度の各学会活動の結末を中心に、研究集会が開かれた。各委員会の発表と、全体討議の経緯は、次のとおり。

① 北日本地区委員会

発表者 秋田県立図書館長 又井野雄氏
テーマ 「公共図書館の経営方針 卓ましい基盤に因襲して」
北日本地区は卓ましい基盤を擁して、四十八年度、四十九年度の行間において研究した。

討議の結果
市町村立の分館、市民の基本財産にもとづくことが必要だが、そのみにとどまらず、市町村の置置策を計画し、その中にきちんと分館を組み入れる必要がある。

Table with columns: 委員会 (Committee), 研究テーマ (Research Theme), 発表者 (Presenter). Lists research topics and presenters for various committees.

職員司書は専門職でありながら、あまり語れない。資料加工方法を考慮する必要がある。
補助費の不足も、館長は可憐な格を放つたほうがよい。
また、人材交流の促進策を試験制度の改革、人員の充実に必要。

網に入る、ということである。
② 関東地区委員会
発表者 栃木県立図書館長 栗谷俊昭氏
テーマ 「司書職の質向上についての考察」
司書へのアンケートを渡し、それをもとに考察した。アンケートは、主として主観的な意見を調査した。

